

平成 23 年 5 月 12 日
沖縄電力株式会社

エネルギー記者会における定例副社長会見について

電気事業連合会加盟各社は、エネルギー記者会において、毎月（8 月を除く）持ち回りで社長および副社長の定例記者会見を行っております。

本日、下記のとおり、当社副社長 石川清勇が会見を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 日 時： 平成 23 年 5 月 12 日（木） 14:30
2. 場 所： 経団連ビル 電事連 1801 会議室
（東京都千代田区大手町）
3. 出席者： エネルギー記者会加盟各社
4. 配布資料：
 1. 最近の沖縄経済の動向について
 2. 電力需要の動向について

以 上

1. 最近の沖縄経済の動向について（平成23年1月～3月）

○ 現状

最近の県内経済は、個人消費は底堅く推移したものの、東日本大震災の影響により観光が大幅に減少したことなどから、全体としては弱含んだ動きとなっている。

- ・ 個人消費 …… 政策効果の剥落による影響がみられるものの、前年より気温が低く推移し、季節商材の売上が好調だったことなどから底堅く推移している。
- ・ 観 光 …… 航空会社の路線縮小等に伴う提供座席数の減少に加え、東日本大震災による影響を受けたことから、前年を大幅に下回っている。
- ・ 建設関連 …… 前年上期の予算前倒し執行の影響による反動増に加え、国を中心に大型案件がみられたことから、前年を大きく上回っている。また、新設住宅着工戸数も前年を上回っている。
- ・ 雇 用 …… 完全失業率は改善傾向が見られるものの、依然高い水準にある。

○ 先行き

震災の影響により本土景気が長期に亘り停滞した場合、本県経済も観光を中心とした影響の拡大が懸念される。一方、代替増産効果や復興需要の波及なども予想される。

主要経済指標(対前年同期伸び率)の推移

(単位:%)

項 目	21年度	22年度			(再掲)			
		上期	下期	年度計	1月	2月	3月	1月～3月
大型小売店売上高	▲3.3	▲1.8	-	-	1.9	1.2	-	1.6
新車販売台数	1.8	26.9	▲24.0	0.5	▲4.8	▲24.0	▲31.6	▲23.0
家電卸販売額	17.7	17.3	13.2	15.2	5.2	▲8.7	0.1	▲1.4
新設住宅着工戸数	▲14.6	▲6.2	0.8	▲2.8	6.5	29.6	▲13.3	8.8
公共工事請負金額	▲2.8	▲16.2	4.3	▲6.4	43.3	94.9	18.1	36.4
入域観光客数	▲4.1	5.1	▲4.5	0.5	▲2.9	▲3.7	▲19.9	▲9.7
完全失業率	7.5	7.5	7.1	7.3	7.6	6.6	6.2	6.8
企業倒産金額	▲77.3	▲36.9	▲39.1	▲37.7	▲33.9	▲36.6	182.8	▲2.5

注①:大型小売店売上高は全店舗ベース。

注②:家電卸販売額は概算値。

注③:完全失業率は原数値。

注④:1月～3月(再掲)のうち、大型小売店売上高は1月～2月の累計。

[データ出所:沖縄総合事務局、沖縄県、りゅうぎん総合研究所、おきぎん経済研究所、他]

以 上

2. 電力需要の動向について

○平成22年度の電力需要

平成22年度の電力需要は75億2千1百万kWh、対前年伸び率0.6%となった。

・民生用需要

電灯においてお客さま数の増加や冬場の気温が低かったことによる需要増があったことなどにより、前年を上回った。

・産業用需要

前年の降水量が少なかったことによる海水淡水化施設稼働増の反動減があったことにより、前年を下回った。

平成22年度 用途別需要実績

(単位：百万kWh、%)

		22年度		
		上期	下期	年度計
電 灯 計		(0.8) 1,550	(4.6) 1,441	(2.6) 2,991
業 務 用		(1.5) 1,491	(0.2) 1,248	(0.9) 2,739
小 口	低 圧	(▲3.1) 279	(▲2.8) 188	(▲3.0) 467
	高 圧 A	(▲1.1) 228	(▲2.8) 206	(▲1.9) 434
	計	(▲2.2) 507	(▲2.8) 394	(▲2.5) 901
大 口		(▲3.3) 438	(▲5.0) 406	(▲4.2) 844
そ の 他		(▲4.2) 21	(12.9) 25	(4.4) 46
電 力 計		(▲0.2) 2,457	(▲1.3) 2,073	(▲0.7) 4,530
電灯電力計		(0.2) 4,007	(1.1) 3,514	(0.6) 7,521
(再 掲) ※	業 務 用	(2.0) 322	(2.0) 242	(2.0) 564
	産業用その他	(▲5.3) 301	(▲7.0) 278	(▲6.1) 579
	計	(▲1.7) 623	(▲3.0) 520	(▲2.3) 1,143

※当社の特定規模需要の範囲は、特別高圧で受電し、原則として使用規模が2,000kW以上のお客さま

【参考】

	22年度		
	上期	下期	年度計
民生用需要	(0.7) 3,341	(2.3) 2,902	(1.4) 6,243
産業用需要	(▲2.6) 666	(▲4.3) 612	(▲3.4) 1,278
合 計	(0.2) 4,007	(1.1) 3,514	(0.6) 7,521

民生用＝合計－産業用

産業用＝高圧A＋大口(高圧B＋特定規模需要(産業用))

※上段は対前年伸び率

○平成23年度の需要見通し

平成23年度の電力需要は75億6千4百万kWh、対前年伸び率0.6%増を見込んでいる。

・民生用需要

電灯において前年度冬場の需要増の反動減が見込まれるものの、業務用電力におけるお客さま数の増加による需要増が見込まれる。

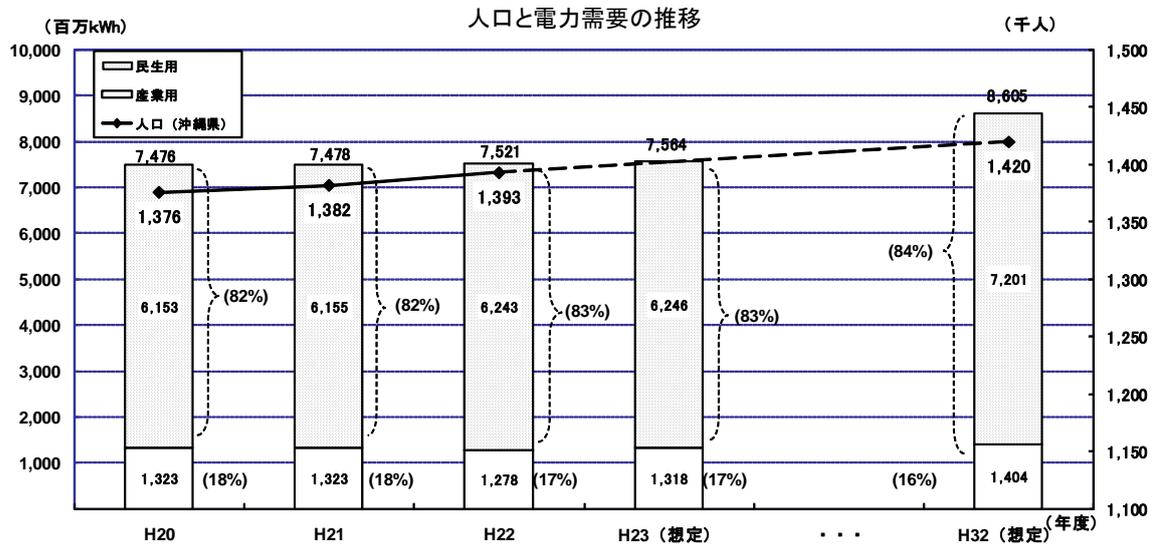
・産業用需要

水道業において海水淡水化施設の需要増が見込まれる。

○長期需要見通し

人口の増加に伴い、民生用を中心とした電力需要の伸びが見込まれる。

平成32年度の電力需要は、86億5百万kWh、平成21年度から平成32年度に至る年平均伸び率は、1.3%（気温補正後1.4%）と想定した。



平成32年度に至る電力需要見通し

(単位: 百万kWh、%)

	H20年度		H21年度		H22年度		H23年度		H32年度	
	(実績)	(実績)	(伸び率)	(実績)	(伸び率)	(想定)	(伸び率)	(想定)	年平均伸び率 21~32年度	
民生用	電灯	(2,875)	(2,878)	(0.1)	(2,968)	(3.1)	(2,965)	(▲0.1)	(1.2)	
	業務用他	2,887	2,916	1.0	2,991	2.6	2,973	▲0.6	1.1	
	計	(3,214)	(3,181)	(▲1.0)	(3,203)	(0.7)	(3,265)	(1.9)	(1.9)	
	業務用他	3,266	3,239	▲0.8	3,252	0.4	3,273	0.7	1.7	
産業用	計	(6,089)	(6,059)	(▲0.5)	(6,171)	(1.8)	(6,230)	(0.9)	(1.6)	
	高圧B他	6,153	6,155	0.0	6,243	1.4	6,246	0.1	1.4	
合計	(7,412)	(7,382)	(▲0.4)	(7,449)	(0.9)	(7,544)	(1.3)	(1.4)	(1.4)	
	7,476	7,478	0.0	7,521	0.6	7,564	0.6	8,605	1.3	

※ () は気温うるう補正後。 H22は暫定値

民生用=合計-産業用

産業用=高圧A+大口(高圧B+特定規模需要(産業用))

以上